

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川体育馆
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	体育馆は、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績(体育馆)

成果指標	利用者満足度
数値目標	80%
年度実績	80.0%
達成率	100.0%

## 2 管理運営の成果・実績(トレーニング室)

成果指標	利用者満足度
数値目標	
年度実績	
達成率	

## 利用状況（メインアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	95.6%	97.2%	-1.6%

## 利用状況（サブアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 利用状況（柔道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 利用状況（剣道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 利用状況（会議室大）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

利用状況（会議室中）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	10,488,000	14,201,325	0	
	計画	10,488,000	8,915,180		
利用料金収入	実績	21,867,100	15,196,010	7,014,100	体育館稼働率が高いこと、それに伴う付帯設備や空調の利用料収入の増加が要因
	計画	14,853,000	16,138,780		
その他収入 (自主事業収入)	実績	3,969,878	6,754,293	9,878	
	計画	3,960,000	3,843,240		
合計	実績	36,324,978	36,151,628	7,023,978	
	計画	29,301,000	28,897,200		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	19,485,501	13,586,822	6,407,501	最低賃金の大幅UP。指定管理初年度ということで研修やシフトを厚目に組んだこと等が要因
	計画	13,078,000	15,701,200		
物件費	実績	18,333,139	19,490,448	6,562,139	物価の高騰、光熱水費の高騰が影響
	計画	11,771,000	13,151,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	1,430,815	89,571	-3,021,185	体育館稼働率が高いため、教室等の開催を見送ったこと。通常業務内として人件費計上したことでも一要因
	計画	4,452,000	45,000		
合計	実績	39,249,455	33,166,841	9,948,455	
	計画	29,301,000	28,897,200		

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	100.0%	B	

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・本社一括の購入先から備品を安価で購入。 ・節電のため、利用者が来館されるまで照明をつけない。利用者が退館後すぐに消灯。 ・ボイラーは、利用者の有無を確認後につける。	B	

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

## 5 利用者ニーズ・満足度等

- お客様の声BOXの設置し、利用者の声を施設内へ回答を掲示し随時改善に努めた。
- ご利用者アンケートを実施した。
- 施設打合せ時に利用者のご意見の聞き取りを行った。

## 6 外部専門家意見

・利用者満足度が目標値と同値となっており、指定期間初年度ながら求められるレベルに達したことは評価できる。次年度はさらなる向上に向けて、利用者アンケート等に基づき改善を図られたい。
・メインアリーナの稼働率が平均95.6%と高水準であり、とりわけ夜間区分においては99%稼働している。稼働率が高いことによって自主事業の開催を見送ったとあるが、初年度の状況をふまえ適正な計画策定に修正を求める。
・人件費、物価や光熱水費の高騰、初年度による不透明な部分があったことは理解できるが、上でも指摘したとおり計画・実績の差を極力少なくするよう、計画的な経営を望む。
・外壁改修工事に伴う閉館期間があった前年度と比較すると利用料金収入は前年度より増加しているものの、稼働率は前年度を上回らなかったため、次年度は更なる利用件数の獲得に努め黒字となるよう、改善に取り組んでいただきたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		74.6%
達成率		93.3%

## 利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.0%	100.0%	-1.0%

## 利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.2%	98.3%	-1.1%

## 利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	89.4%	92.2%	-2.8%

## 利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	26,463,000	26,668,370	0	
	計画	26,463,000	22,816,210		
利用料金収入	実績	6,959,230	7,095,120	490,230	空き状況を案内することにより稼働率向上しました
	計画	6,469,000	7,167,210		
その他収入 (自主事業収入)	実績	27,766,159	30,241,238	12,681,159	教室事業が好調に推移し、計画を大幅に上回りました
	計画	15,085,000	16,581,980		
合計	実績	61,188,389	64,004,728	13,171,389	
	計画	48,017,000	46,565,400		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	19,500,824	16,681,581	3,102,824	運営開始時のスタッフ増員配置のため増加
	計画	16,398,000	17,271,400		
物件費	実績	20,618,971	27,394,066	2,587,971	電気代が大幅に計画超過いたしました
	計画	18,031,000	19,376,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	22,482,956	16,209,137	8,894,956	教室の開催による講師料が計画から超過のため
	計画	13,588,000	9,918,000		
合計	実績	62,602,751	60,284,784	14,585,751	
	計画	48,017,000	46,565,400		

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	93.3%	B	

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・閉館施設から移動可能な物を移動しての使用や、本社一括購入等での経費コントロールを実施。 ・始業点検後に一度照明を消灯し、使用10分前点灯や夏場のボイラー温度が下がらない時期のボイラー停止などこまめなON・OFF管理を実施。 ・教室参加費入金時等の繁忙時・閑散期での要員配置コントロールを実施。	B	

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 5 利用者ニーズ・満足度等

- アンケートを実施しその結果を踏まえ施設運営を改善しております。また、スタッフが直接話を聞きし、ご指摘事項に対する改善に取り組みました。
- 教室に使用する備品や一般利用で使用される備品については利用後に倉庫等を確認し、ヨガマット等を清掃し、バドミントンなど支柱を使用する種目は支柱ロープ等を整え、次のご利用者が気持ちよくご利用いただけるようにしました。
- 3時間毎にロッカー巡回を実施し、各居室の室温管理を行い快適にご利用いただけるように対応しました。
- 空調設備のない第1体育場・第2体育場ご利用者の熱中症対策とし、更衣ロッカーやロビーの空調の風が各フロアに流れるようになりました。また、熱中症対策として氷やイオン系ドリンクを準備し、必要な方には配布するようにいたしました。
- 駐輪場における通勤・通学の不法駐輪が多くご利用者のスペースがなくなっていたため、開館前に駐輪場スタッフを配置し、ご利用者以外の不法駐輪を0件としました。

## 6 外部専門家意見

- 立地条件の良さゆえの不法駐輪について、人件費を投じて対策に踏み切った点は評価できる。
- 熱中症対策として氷やイオン系ドリンクを準備し、必要な方には配布する対応も公の施設として望ましい対応である。
- 利用者満足度が目標値に達していない点については、課題を整理した上で、次年度は具体的な改善を行うことを望む。
- 自主事業収入が好調であった点も評価できる。次年度は支出部分をコントロールしつつ、より収益性が高まるることを期待したい。
- 収入に関して、利用料金収入・自主事業収入が前年度より減少しているため、近隣の小・中学校への誘致活動やSNS活動に力を入れる等、次年度は黒字となるよう施設利用者の獲得に向けて積極的に取り組んでいただきたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		78.6%
達成率		98.3%

## 利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.3%	0.5%

## 利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.9%	96.4%	0.5%

## 利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	79.5%	70.7%	8.8%

## 利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	30,148,000	20,223,632	0	
	計画	30,148,000	18,306,740		
利用料金収入	実績	9,352,360	9,138,850	605,360	体育場稼働が安定していることと、多目的室の稼働率が上がっている
	計画	8,747,000	9,494,840		
その他収入 (自主事業収入)	実績	12,199,039	9,878,868	3,299,039	新規教室導入やイベント開催により、計画プラス
	計画	8,900,000	11,657,020		
合計	実績	51,699,399	39,241,350	3,904,399	
	計画	47,795,000	39,458,600		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	18,223,110	15,215,193	-836,890	効率的なシフト運用により計画マイナス
	計画	19,060,000	16,723,600		
物件費	実績	21,483,391	20,231,511	-1,454,609	工事による冬場の暖房使用が少なかった事も影響し使用料マイナス
	計画	22,938,000	17,405,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	10,432,787	5,442,734	4,635,787	新規教室を導入することにより増額
	計画	5,797,000	5,330,000		
合計	実績	50,139,288	40,889,438	2,344,288	
	計画	47,795,000	39,458,600		

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	98.3%	B	

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗備品は、本社一括の購入先から安価で購入し、再利用できるものは有効活用。 ・節電のため、利用者状況を把握し事務所にて一括ONOFF管理。	B	

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

## 5 利用者ニーズ・満足度等

・ご利用者アンケートを実施しました。 ・屋内プール、ジム、図書館、区民会館利用者が間違えてスポーツセンターに来館される事が多いので、わかりやすい案内図を玄関と受付窓口に設置し、お問合せ時にも丁寧な案内を心がけました。 ・新しい自主事業教室を増やすことで、多くの方へご満足いただけました。
---

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 6 外部専門家意見

- ・新規教室を導入し、積極的に自主事業収入の増加を図った点は、経営努力であり評価できる。
- ・人件費や光熱水費が高騰する中、効率的なシフト運用などの経営努力により黒字とした点は評価できる。ただ、今年度は工事によって冬場の暖房使用が少なかった事も影響しているため、次年度以降は通常使用の場合でも黒字を維持できるよう計画的な施設運営に期待する。
- ・第1体育場及び第2体育場の稼働率の高さに比べ、多目的室の稼働率が少し低い点が気掛かりである。屋内プールと同敷地であり、運動への関心が高い市民へアプローチしやすい強みを活かし、引き続き館内外の掲示板等を活用した情報発信により利用を促進されたい。
- ・収入について、利用料金収入及び自主事業収入は、誘致活動に努めた結果、施設全体の利用者数が前年度より増加したと考えられる。引き続き、多目的室の利用者獲得に尽力していただき、施設使用率95%以上を目指されたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		71.4%
達成率		89.3%

## 2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		75.8%
達成率		94.8%

## 2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

## 利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	104,036	137,891	-33,855
稼働率			

## 利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

## 利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	36,310	34,605	1,705
稼働率			

## 利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	99,730,000	77,344,091	0	
	計画	99,730,000	69,790,500		
利用料金収入	実績	39,554,900	46,781,025	-12,955,100	工事休館により減額
	計画	52,510,000	66,793,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	45,119,667	50,098,350	2,811,667	新規教室導入や物販の開催 ※休館補填含む
	計画	42,308,000	33,543,800		
合計	実績	184,404,567	174,223,466	-10,143,433	
	計画	194,548,000	170,127,300		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	80,071,972	48,626,031	15,328,972	プール監視の増員や新規採用者の研修実施など
	計画	64,743,000	64,593,500		
物件費	実績	82,932,269	120,901,362	-15,545,731	工事休館により光熱水費の削減
	計画	98,478,000	102,689,800		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	22,585,666	18,339,588	-8,741,334	施設職員にて多数の教室を実施のため
	計画	31,327,000	2,844,000		
合計	実績	185,589,907	187,866,981	-8,958,093	
	計画	194,548,000	170,127,300		

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（屋内プール）	89.3%	C	
利用者満足度（トレーニング室）	94.8%	B	

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・使用備品の在庫管理、発注管理により無駄をカット。 ・ボイラーの交互運転、細やかな室温コントロールによりガス代を節約。 ・館内の室温基準を設け、それに合わせた設定と管理を実施。 ・節水システムの導入により水道使用量を節制。 ・日々の光熱水メーター管理による異常値の早期発見に努めた。	B	

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

## 5 利用者ニーズ・満足度等

- 施設内へご意見箱を設置し、利用者からのご意見には施設内へ回答を掲示し随時改善に努めました。
- 館内アメニティや施設不備についてご利用者や従業員から情報があれば、構成企業とタイムリーに連携し早期改善を図れる体制を整えました。
- 清潔、快適な施設を利用いただくため、1時間に1回ロッカールームの点検・清掃を実施しました。

## 6 外部専門家意見

- 利用者満足度が目標値を下回っていることから、原因を整理、深堀したうえで見直しを図られたい。
- 約2か月の工事休館の影響もあり屋内プールの利用者数が前年度と比較し約25%減少している。  
休止期間後の減少理由について検討し、次年度は具体的な改善策に努めていただきたい。
- 施設職員にて多数の教室を実施することで人件費を削減した点は評価できる。
- 屋内プールの利用者について、前年度より1回券購入者は大幅増加したが定期券購入者が減少した結果、収入減少している。工事休館の影響が大きいと考えられるものの、1日あたりの利用者も減少しており、今後も利用促進活動に努めていただきたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	